

OUTLINE IN THE SECOND HALF OF 2015

2015年下半期の総論

みなさまこんにちは。まーさです！
再会を果たしたみなさま、ハイいつもありがとう！
はじめましてのみなさまも、よろしくです。こんにちは（笑）。

月日の経つスピードとは本当に恐ろしいもので…
（汗）
この間、上半期を書いたと思ったのに、もう下半期
やで。しかし！

といいつつ、今回の下半期。実はちょっと書くのを
楽しみにしている自分もいました
（かといってすぐスケジュール早目に取り掛かれた
というわけでもないこの矛盾）。

なぜかと言うと！（話は長くなるのでご用意くださ
い）

まず2015年上半期は、まさに何度も書いてきてい
るように「火の星座のグランドトライン」が超強力な
時期でした。言うならば、ど派手！な星回りだった
わけです。これを書いている今もまだその範疇です
が。

だからさぞかしすごいんだろうな〜と、そもそも先
に思っていたのですよ。

で、ちょうど上半期占いを書いていた昨年後半は、
一年の占いを書かせていただく機会もいくつかあつ
たので、これから書く下半期もさらっとは見ていた
のです

（実際占いをするので、さらっとなってことはないん
ですけど。笑。でもこの『占い帳』レベルでこってり書
くことはそうそうないので、それに比べるとライトな
印象なのでした）、それに比べると下半期は何か地
味に見えたというか。

いやそれでもいろいろ、強烈なタイミングというの
はありそうなんですけどね。

でも、そんな感じに見えたんです。つまりそんなに
期待してなかった。2014年年末段階では。

ですが、再び今、2015年の火の星座の洗礼を大い
に受けた今、見直すと。

ものすごく違って見えています。

何で同じ星を見ているのに、こんなにそのときによ
って見えるものが違うのか？というのは、個人のホ
ロスコープを見ているときでもよく思うことですが。
多分、“今”という時期への理解が私の中で進んだ
からですね。

去年の段階では、「一定期間、火の星座の影響力
が極めて強くなるとは、どういうことか」が、まだ実
感としてわからなかった。

だから、そのフィルターを通した目、十分に味わい
きった舌でないといけない部分は、まだ感知でき
なかった。

そういうことなのだと思います。

昨年段階より、また半年分星を味わって越えたまー
さ眼&まーさ舌は（笑）、

「2015年下半期もなかなかグッドルッキングじゃの
う！美味じゃのう！」

と申しておりますよ（笑。聞いてない？）

ではまあそんな能書きはこの辺にして。

まずは、下半期に入る前に、上半期のおさらい、まと
め、自分なりの位置づけを確認しておきましょうか。

2014年12月、土星が蠍座から射手座に移動した
ことで、牡羊座天王星、獅子座木星、そして射手
座土星という、大惑星だけのグランドトラインが
来上がりました。

前の水星座のグランドトラインの時期（蟹座木星、

蠍座土星、魚座海王星の時期)にもそんな話を書きました。最近連続してこういう話題が多かったので「よくあること」と思われがちです。が、いえいえ、めったにありません！ 惑星はそれぞれ固有の運行スピードを持っているため、その周期がそろったタイミングでしか見られない現象です。ちなみに次の木星、乙女座木星期には、牡牛座に大惑星は来ないので土星座のグランドトラインはありませんし、天秤座木星期にも風のグランドトラインは出来ません。

というような、レアなシーズンだったこの上半期。

とにかく勢いがあったし、何でしょう。12星座全体の行動力、実行力のようなものが上がる時期だったという気がします。特徴的だったのは「動く前にコミュニケーションをそこまで取らない」とか、「考えがぐるぐるしても、感情は揺さぶられにくい」とか、この辺もあるかな。当然ながら火の星座は三星座とも男性星座ですが、まさに「男子が仕切っている世界」のイメージでした(笑。非常にわかりやすい)。もちろんこの世にもいろんな男子がいますけど。この男子は「いわゆる、男子と聞いて最初にみんなが思いうかべる類」の、男子です。明るくて元気があって、さっぱりしていて行動力があって、あまり深くは考えないけど、その分うがったところ、ひねくれたところもない。

そんな感じ。

この上半期も、どこかそういう価値観というか、気風が流れている時期のように思えました。

具体的にどういことが起こるか、そこでどう感じるかは、その方によって違うのはまあ当然なんです。でも、「今はいろいろ細かいことを気にするより、まず行動したほうがいい」

「深く考えて足が止まるなら、楽観的にとらえて、ひとまず明るく過ごしたほうがいい」

「知恵、知識、経験も大事だが、今は本能や直感、自分の意志を尊重したい」

「人任せではなく、自分一人でもどンドン動いた方が、物事が発展しやすい」

本当にこういうときだったという気がします(しかしまだ終わってないんだけど)。

そういえば、めそっている人も比較的少なかった気がしますしね(笑。=めそめそする、の意味です)。いや、現実にはみんないろいろなことがあるのだけど、そこで泣く(=ある意味感情に浸る、癒しを求める、やさしさを欲する)みたいな欲求が全体的に少なかったというか。

もちろん、時に人はめそめる必要もあるのですが。この時期には、「ちきしょー!くやしい!」と怒って暴れる、そして怒りながらも次の行動を考える…というパターンか、そこまで元気が良くない人は、何となくイライラそわそわし続ける…。

こっちの発散方法の方が、多かった気もしますし。この辺もまさに、火、という感じです(逆に水の影響が強かったシーズンは、良くも悪くもめそる、感傷的になる傾向が全体的にありましたね)。

でも、心理学的にも「怒りは生きるエネルギー」であると言います。

涙で発散されるものもたくさんありますが、怒りで発散するときの方が、より具体的な行動に繋がります。やすいような印象も受けます。

いや違うか。

「火のエネルギー」とは大筋活気をもたらすものなので、動く意志の明確な人には、基本全く害になりません。だからこの上半期は、「やりたいことがあ



る」人には常に多かれ少なかれ追い風で、「やりたい気持ちはあるが、それが何か明確になっていない。明確にしたいが何か滞っている」人には、やや息苦しい、落ち着かない時期なのでしょう(まあそうやってフラストレーションを抱えることで、停滞する自分を吹き飛ばそうという本能なんだけどね。だからいいことよ)。

逆にこれはついでですが、「水のエネルギー」とは人に“感じさせる”力なので、普段そこから遠ざかっている人ほど、自分の気持ちや相手の存在の大きさを強くキャッチすることになり、ある意味揺さぶられます。

また、もともとその気質の強い人も、水が過剰に傾くので、やや「感じやすく」なり、良くも悪くも、心乱れるときになりますね。

という性質から考えると、どっちかという、火の方が人間全般に対し万能で、水の方が扱いが難しい(吉凶がいろいろある)エネルギーに思えます。

で、また話が半分横に? 広がりすぎましたので、修正しますと(おさらいに戻る)。

4月、牡羊座に太陽がある時期までが特に火の星座のエネルギーは強烈で、5月~6月~と星が移動するごとに、その影響力は弱まってきました。

でも、強い熱が冷めるのに一定の時間が必要なように、上半期一杯は、その力はある程度高レベルで持続すると思います(現在未来形)。

ちなみに毎回見る「上半期と下半期をつなぐ、のりしろ部分」、6月の段階では、金星と木星が共に獅子座で徐々に接近中。下半期の最初、7月頭段階でもびったり一緒で、これが牡羊座天王星ともよろしい角度。

「革新的な、独創的な自分でありたい」「自分らしい

幸福を追求したい」、そんな欲求と、その可能性を強く信じられる楽観性が、感じられます。

その少し前には、逆行を始めた射手座土星が、双子座で団子になった太陽、水星(逆行中)、火星と180度の位置を取り、

「人と折り合えない難しさ、言葉をつくすタイプのコミュニケーションで分かり合えることの、ひとつの“限界”」を感じさせていましたが、

そのデリケートな時期のピークを過ぎ、改めて何かを構築しよう(自分自身の手で!)という方向に舵を切ったように思えます。

また6月16日からは、逆行している土星が再び蠍座に入ったため、ここからも火のエネルギーの要素は少し弱まると判断できるのですが。

私の場合は、逆行で星座を移動しても、「今は射手座土星の時期」という風に見続けますので、意味的には変わりありません(一度お嫁に行った子が、何かしらの形で里帰りしているだけで、独身に戻ったのではない、みたいな感じかな)。

でも、過去の経験を表わす土星が星座をまたぐということは、それなりに意味があるので。

下半期は、上半期からの恩恵、教訓を得て、「情熱だけ、勢いだけ、自分だけですべてを片づけよう、自分は世界を理解しきったと勘違いしきらないように」

「今に至るまでのすべての時間、自分の前にそれに携わった人全員の力、過去から学べるすべての“熟成”を味方につけ、さらに“今”を生きろ」

こんなテーマも、あるんだろうなと思います。

そのくらい、上半期はぶっ飛ばしてきていました(つ

まりそういう振り返りはほとんどなかった)。

下半期は、「勢いよく動き回った新しい時期、2015年上半期」と、それ以前とをつなぐ役割。

より上半期をビルドアップし、しみこむべきものをしみこませ、深めるところを深め、磨くべきを磨く。そういうときなんでしょうね。

その辺の役割、実に乙女座にはふさわしい!(笑) 星はいつもナイスタイミングで人員?(この場合の乙女座木星)を送り込んできますな〜。

火の星座がでっかい岩なり、木なりをいわば力ずくとやる気でバシバシ削って、粗削りながらも外形を作ったところで、今度は繊細で知的な仕事をする乙女座(土星座)がカンナ係(サンドペーパー係)として登場…みたいな風に解釈してもらえると、わかりやすいかもですね。

さて、自分はこの上半期に何を新しく生み出したのか?

それを、ここからどう、洗練された、より人生になじむ、レベルの高いものへと変えていくのか?

このあたりを自問自答しながら行くと、いいのかなと思います。

前置きだけですでにすごく長くなりましたが、いよいよ、下半期入ります(笑)。

7月は強烈な火をくべられた 本能の窯ぐつつぐつ上半期最終章。 自分に対し素直に、かつ強くあれ!

さて、行きますよ。では7月。

先ほど話題になった土星が、逆行によって蠍座に入り、ここまで強く働き続けた火の星座のエネルギーから、ひとつ“目的意識”がわからなくなった感じの

この7月です。

何かを成し遂げたいと思い、自分を変えたいと感じ、それを実行に移す勢いと強さ、突破力。

それがこの火の三星座がそろったときの持ち味なのですが、その中で射手座がもたらすのは、ひとつの“哲学”。「なぜそれをするのか、それをするのは、何に繋がるのか」。そんな、言わば、ひとつの行動を一時の衝動、思いつきに終わらせない、知的で普遍性のある何かに変換する力なのですが。

これの象徴であった射手座土星が座をはずすことで、ややこれまでの動き、自分の中の勢いに対し「なぜこれをやるのか、どうしてこれではなくてはいけないのか、わからなくなる」。そんな感じはあるかもしれませんが。

また、この時期は、他の火の二星座、牡羊座天王星と、獅子座木星+獅子座金星とがずばりこんな角度で(笑)。

ただでさえ「この世って素晴らしい!自分最高!」的楽観性が強いので、土星の重し(いい意味でも悪い意味でも)が取れた分、一段と舞い上がれる&舞い上がってしまう可能性ありにも思えます。

ええ、普通に考えるとすごく楽しい時期だろうなという話なのですが、

この世には常に、適切な冷静さ、落ち着き、知性、安定感が必要なのです。それこそが長期的、継続的な良い状態を保つ秘訣でもありますから。

「楽しいだろうけど、羽目を外しすぎないでね」と非常に言いたくなる、牡羊座、獅子座に(笑。いや、この二星座の人にではなく、全体にですけど)。

あと、この時期はこれ以外にも、めちゃくちゃ興奮しやすそうな星回りがあってですねえ〜。

話の流れ的に前後してしまいましたが、本来はこちら